

平成18年度 地域情報化委員会 事業計画(素案作り資料)

0. 役員人事 委員長： 副委員長 書記

1. 定例委員会(7回開催/年、予算3万円)

・委員会日程、委員、ワーキンググループ(以下WG)

2. 地域情報化委員会 事業計画

1) 府民情報化新春セミナーの開催

3. WG活動。

ア) 京都府デジタル疏水(京都ONE含む) (古川委員)

京都府が進めている「京都府デジタル疏水整備後における今後の整備についての調査研究会」の委員会に17年度に引き続き参画し、地上デジタル放送を利活用した自治体広報や防災実証実験の可能性を検討していきます。地域が活性化する観光分野への取組をはじめとして、京都府、京都市他行政関係の動きを十分研究、京情協の果たすべき役割の有無を見極めて連携していきます。

イ) 産学公連携 担当:(馬場委員) 予算3万円

1) 京都産業21 京都試作プラットフォーム事業

2) 京都府が進めている「京都府デジタル疏水整備後における今後の整備についての調査研究会」の委員会に17年度に引き続き参画し、地上デジタル放送を利活用した自治体広報や防災実証実験の可能性を検討していきます。地域が活性化する観光分野への取組をはじめとして、京都府、京都市他行政関係の動きを十分研究、京情協の果たすべき役割の有無を見極めて連携していきます。

3) 大学と連携(京都産業21との連携)

ウ) 医療情報 関連会議予算3万円

1) どこカル・ネット メリットが少ないため18年度は予算化しない。  
総会、例会に参加 どこカル・ネットにかかる医療情報収集。

2) 医療従事者の情報リテラシー調査・研究

(増田委員) 予算15万円

17年度作成の調査資料にもとづいて、医療従事者のリテラシー向上、安心、安全社会を目指して、IT産業、医療機器産業界が社会貢献する。

エ) 他府県の情報産業団体との連携

今年度事業は調査報告書にて終了します。

調査報告書では一旦終了しますが報告書の総括、提言を18年度議論することを通じて新たな活動の方向性を提示する。

オ) 観光交流空間づくりモデル事業の件：協議会が開催されれば参加

#### 4. 情報提供

以上